

防災だより

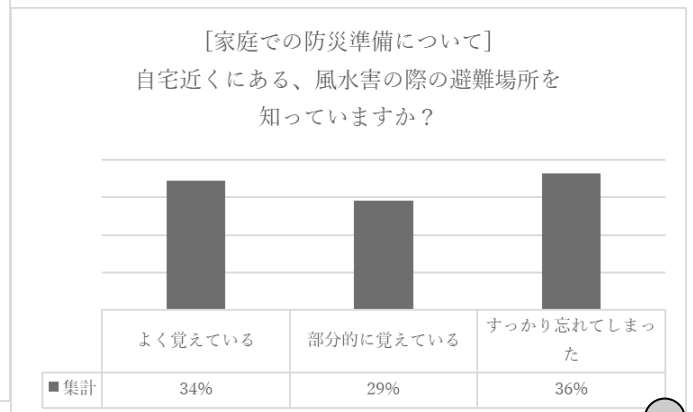
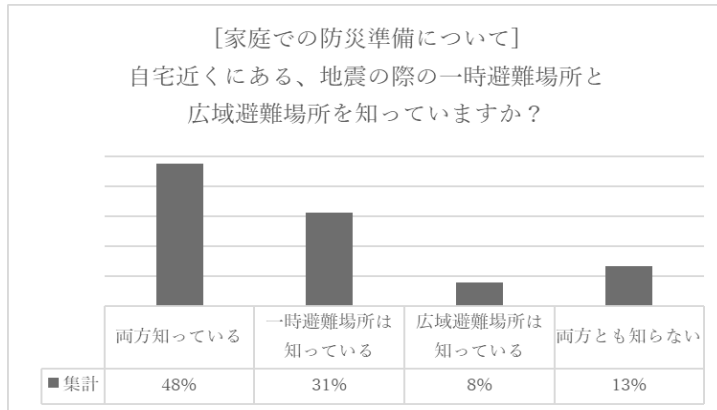
令和5年10月号

今回のテーマ：「アンケートを振り返る②」～家族全員が無事避難するために～

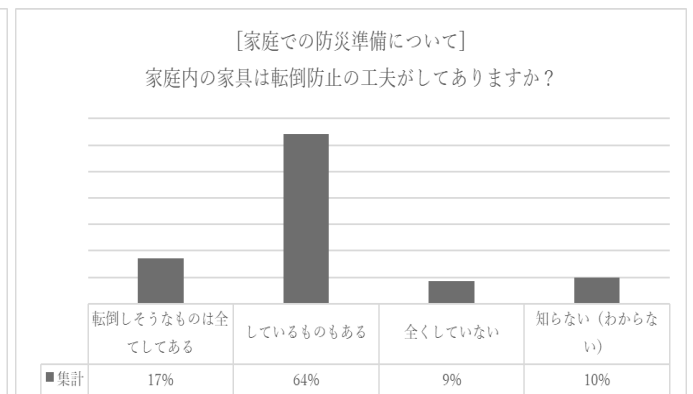
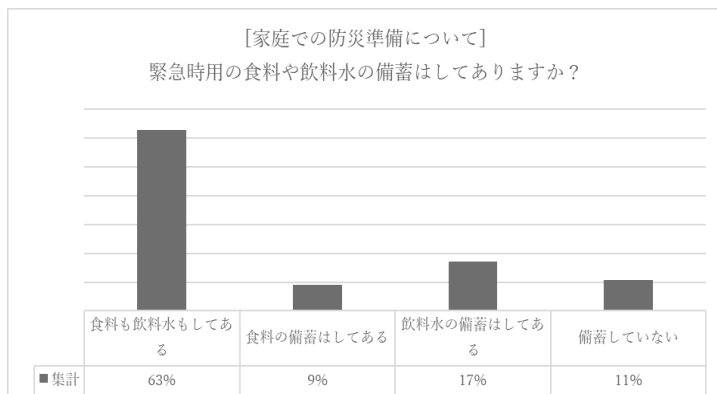
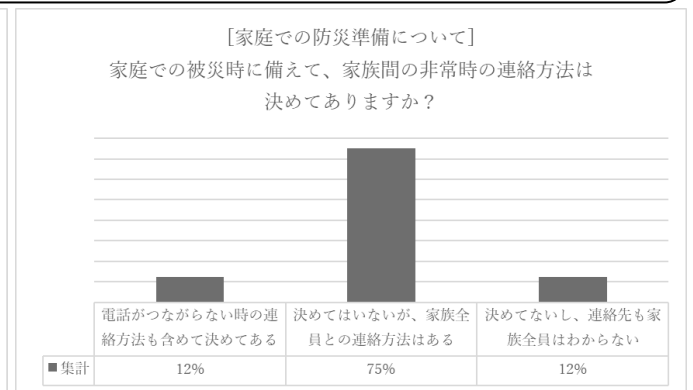
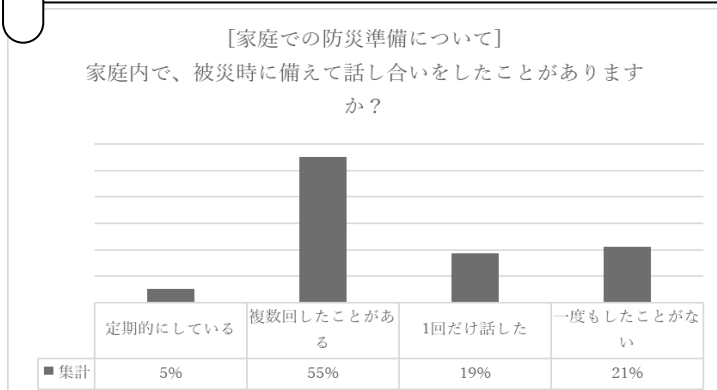
防災アンケートへご協力頂きありがとうございました。先月号と同様に今月号も振り返りを行っていきます。自分の回答を思い出しながら、家族全員が安全に避難できるために日頃から意識しておくことを探っていきましょう。

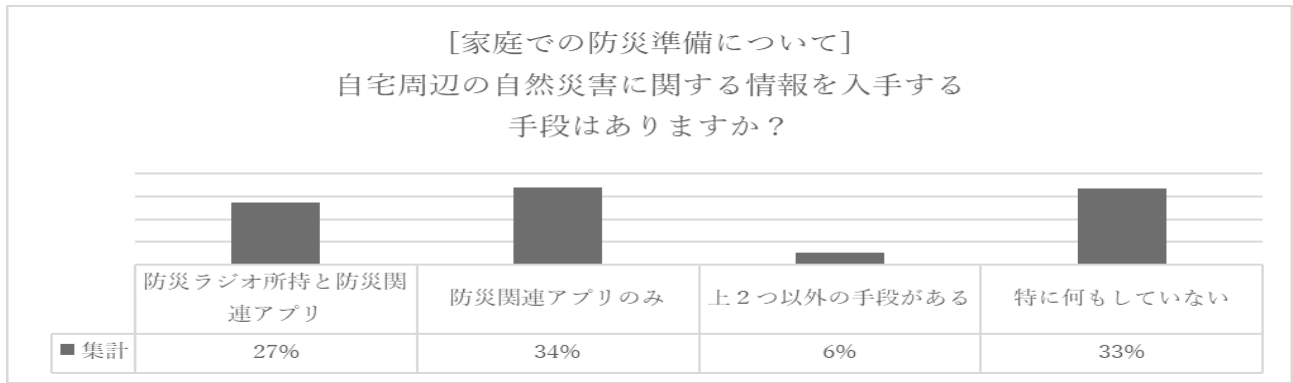
【アンケート集計(家庭)】

867名/1147名が解答



地震の際の避難場所に比べて、風水害の避難場所は多くの人が意識していないようです。近年の異常気象により、今後日本にもこれまで経験したことがない風害、水害が起こる可能性は少なくありません。地域によっては地震と風水害の避難場所がはっきり分かれていることもありますので、被災時に急いで避難した結果、避難先を間違えて、家族とはぐれたなどのトラブルがないように、ハザードマップなどで今一度確認しましょう。





食料や水の備蓄、家具の転倒防止対策、被災時の情報入手手段など、目に見える形での家庭での防災準備は多くの家庭で意識されているようですが、家庭での被災時を想定した話し合いなど、目に見えない形での防災意識がまだまだ足りないところもあるようです。被災時はスマートフォンがつながりにくくなる可能性もあるので、避難場所の具体的にどの位置で落ち合うかなど、細かいところまで日頃から話し合っておけば、落ち着いた対応もできるでしょう。今回の結果から、今後自分の家族間に必要なことを考えてみましょう。

第2回防災避難訓練を終えて

避難完了 TIME： 8分45秒

令和5年10月20日(金)に2回目の防災避難訓練を実施しました。

今回はあえて6限終了後を開始時刻とし、「生徒主体」で避難してもらいました。教員がいない中で合図があったため、当初戸惑った人もいたのではないのでしょうか。しかしながら、例年と差がない時間で、ほとんどのクラスが全員で避難完了出来たことは、皆さんの防災意識の高さを表しているとも言えます。家庭の防災対策もぜひ生徒の皆さんが主体となって、家族全員無事に避難できる方法を考えてみましょう。

教頭先生のご講評

避難訓練ご苦労様でした。

今回の避難訓練は教員の誘導なしで、グラウンドに避難するという形をとりました。君たちは、いつ・どこでどのような災害に遭っても、最終的には自分で身を守らなければなりません。今回は安全に、迅速に避難できたでしょうか。学校では、千人を超える生徒が避難しなければなりません。今回の避難訓練では、安全な経路で、迅速に、順番を守って避難できたものと思っています。繰り返し訓練することで、非常時に慌てず動けるものなのです。

ところで、講評でも述べましたが、若くて体力のある君たちは、まずは自分が必ず生き延びてください。自分の安全が確保されたら、周りに目をやってください。そして、助けを必要とする人があれば、手を差し伸べてあげたいものです。

また、皆さんの行動について、各クラスの室長と副室長にアンケートへの回答をお願いしました。

その結果、ほとんどのクラスが「**私語が多かった、私語を注意すべきだった**」と、緊急避難時の私語の有無を気にしていました。

緊急時に放送ではなく、教員の声による呼びかけで避難することは十分考えられます。

安全に迅速に避難を完了するためには、全員に指示が渡ることが不可欠です。

すべきだった、という意識だけではなく、自分の行動が、友達や家族あるいは周囲の安全のために必要だと判断したのならば、今度は迷わず行動できると良いですね。